

安倍政権・東電の 福島切り捨てを許さない。

12月14日、福島原発事故被害切捨てを進める安倍政権と東電に対し、怒りの要請行動を行い、早朝から80名の農民連会員が参加しました。



心
福島切り捨てを許さない！

安倍政権・東京電力の
福島切り捨てを許さない。

福島県農民連
農民連



▲さくらんぼは回復したが、桃で被害がある場合、本来賠償される桃の賠償金が減らされる

◆ +は事故前より価格が回復、
-は被害が続き価格が下落

これまで損益通算することなく賠償金20万円が支払われていた

表1

損益通算

| 品目/月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|-------|-----|-----|----|
| さくらんぼ | +5 | +5 | |
| 桃 | -10 | -10 | |
| 請求合計 | | -10 | |

▲さくらんぼは回復したが、桃で被害がある場合、本来賠償される桃の賠償金が減らされる

| 品目/月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|-----|-----|-----|
| りんご | +5 | +5 | +5 |

表2

基準年変更

| 年/品目 | 米穀 | 園芸 | 肉牛・肉豚 |
|------|----|----|-------|
| 2005 | 14 | | |
| 2006 | 13 | 13 | 13 |
| 2007 | 12 | 12 | 12 |
| 2008 | 11 | 11 | 11 |
| 2009 | 10 | 10 | 10 |
| 2010 | 9 | 9 | 9 |
| 2011 | 8 | 8 | 8 |
| 2012 | 7 | 7 | 7 |
| 2013 | 6 | 6 | 6 |
| 2014 | 5 | 5 | 5 |
| 2015 | 4 | 4 | 4 |
| 2016 | 3 | 3 | 3 |
| 2017 | 2 | 2 | 2 |
| 2018 | 1 | 1 | 1 |

◆ 価格がもどり、賠償請求しない場合でも、昨年まで賠償を受けている場合、資料提出を求められる

◆ +は事故前より価格が回復、
-は被害が続き価格が下落

これまで損益通算することなく賠償金20万円が支払われていた

◆ 加害者が一方的に
賠償方法を変更

東電は来年1月から、避難区域以外の農業損害賠償の方法を一方的に変更することを決め、交渉は大紛糾しました。これまで品目ごとに賠償請求していたものを3ヶ月～12ヶ月の期間で他の品目と損益通算し（表1）、賠償基準も見直し、最長14年前（表2）の資料を農家に要求してきます。

◆ 加害者が一方的に
賠償方法を変更

東電は来年1月から、避難区域以外の農業損害賠償の方法を一方的に変更することを決め、交渉は大紛糾しました。これまで品目ごとに賠償請求

じることが原発事故被害者の救済に繋がる」と連帯の挨拶をいただきました。この日は、辺野古埋め立てが開始されたことに対しても連帯し、「辺野古の埋め立て許さない」と声を上げました。

首相官邸前では、安倍首相に満身の怒りを込めて抗議行動を行いました。根本会長は「福島、沖縄を切り捨てる張本人の安倍政権を倒そう！」これは次世代に手渡していくための私たちの責任である。怒りを忘れず闘おう！」と挨拶をしました。安達地方農連の安斎久一郎さんは「自民党的な生方は選挙の度に私たちに投票すれば地域は良くなると言つてきたが、悪くなる一方だ。私たちの望みは原発事故前に戻してほしい、ただそれだけです」と訴えました。生業弁護団の馬奈木弁護士は「国が中間指針を見直せば直ぐにでも賠償解決にいたるケースが多数ある。国は各地の地裁での示された国の責任を認め、早期の和解に応じることが原発事故被害者の救済に繋がる」と連帯の挨拶をいただきました。この日は、辺野古埋め立てが開始されたことに対しても連帯し、「辺野古の埋め立て許さない」と声を上げました。

首相官邸前では、安倍首相に満身の怒りを込めて抗議行動を行いました。根本会長は「福島、沖縄を切り捨てる張本人の安倍政権を倒そう！」これは次世代に手渡していくための私たちの責任である。怒りを忘れず闘おう！」と挨拶をしました。安達地方農連の安斎久一郎さんは「自民党的な生方は選挙の度に私たちに投票すれば地域は良くなると言つてきたが、悪くなる一方だ。私たちの望みは原発事故前に戻してほしい、ただそれだけです」と訴えました。生業弁護団の馬奈木弁護士は「国が中間指針を見直せば直ぐにでも賠償解決にいたるケースが多数ある。国は各地の地裁での示された国の責任を認め、早期の和解に応じることが原発事故被害者の救済に繋がる」と連帯の挨拶をいただきました。この日は、辺野古埋め立てが開始されたことに対しても連帯し、「辺野古の埋め立て許さない」と声を上げました。



5月の現地調査 15人の本人意見陳述実現

生業訴訟控訴審が12月10日仙台高裁で行われました。集会では女川原発再稼働許さない闘いや原発事故への关心がだんだん薄れていることなど発言があり、生業裁判の意義を確認、パレードでも大きな声で市民にアピールしました。目標とした現地調査と意見陳述を勝ち取る内容となった第2回期日でした。



NOTE

青年部の活動、地元の農や食のことをリレーで紹介
若き農業者のつぶやき の一
せいねんぶ農人

8月からいよいよ忙しく働いています、菅野えりかです。写真の左から3人が私です。いよいよトマトジュースは福島農民連の生産者さんが作ったトマトを使い、無塩無添加で安心して飲めます。トマトが苦手な方でも美味しいと頂けるのでぜひ試してみてください。 by菅野



農民連フラッシュ flash

福島県農民連第32回定期総会

12月9日飯坂温泉ホテル聚楽にて県連総会が開催されました。「世界を日本を変える狼煙を上げるのは、農民だ」との冒頭の挨拶を受け来賓の増子輝彦議員から、①農は國のもと。②憲法9条を守る。③原発ゼロ。この3つを共通項に狼煙から松明になるよう、大きな形で結集を!と挨拶いただきました。その後、活発な討論、そして、懇親会。全単組が力を込めたパフォーマンスを披露しました。

